

上野村喝業未来プロジェクト

○広域交流ネットワーク形成に関する策定調査及び実証事業

概要

村の持つ固有の資源のうち、関東圏を潤す水や森林の重要性を再認識し、「上野村が提供できる資質(生產品・自然環境)」「上野村が提供される資質(人・収益)」を明確にし、その上で「生産基地としての上野村」の必要機能を検討する。これらの機能は、村產品の販路及び販売促進拠点開拓などのマーケティング戦略と同時に展開することにより形成されるため、既存販路を持つパートナー(農業法人・百貨店・スーパー・直売所など)との連携のほか、当村独自の強力な発信事業が必要になる。独自の発信事業として、当村を村外に広く売り出すため、県内はもとより関東圏内の都市において、発信事業を展開する。当村は「平成の名水百選(環境省)」の利根川源流域「神流川源流」を擁することから、利根川の源流部(上野村)、中流部(埼玉県等)、下流部(千葉県等)の自治体や民間企業と連携、関東圏域へ良質な環境と食料を提供する「利根川ネットワーク」を設定し、このネットワークの設定準備として、各パートナーの選出とその連携企画を策定する。今回の事業を通して、上野村のブランドカアップ、村特產品の販路開拓や販売促進の強化を目的に、東京首都圏や県内の都市においてイベントの開催やアンテナショップの出店なども行い、今後の産業振興に関する課題や問題点の把握とその対策の検討も行う。

事業の内容

事業の内容

- 1 利根川ネットワークの形成(広域交流の基礎となる「利根川ネットワーク」を結び交流企業との連携強化を図る。)
- 2 交流企業との商環境の形成(交流企業の既存販路やパートナーと連携するため、アンテナショップの開店やイベントに参加)
- 3 産業資源活用方策再構築(交流企業等が上野村の各種施設(加工施設)の視察に訪れ、その中で試作を依頼されたり、ジュース製造の受託が決定した。)
- 4 観光資源の活用方策再構築(上野村の各種団体を一つの会社と考え、村全体を売り出すためイベント開催及び参加)

総事業費

6.7百万円

ポイント

利根川ネットワーク協定の調印による連携の強化及び交流企業からの商品製造受託、イベントへの参加(三越恵比寿店)、開催(食の駅高崎店等、自転車のヒルクライムレース)。

事業の成果

3月14日に広域交流ネットワーク形成の基礎となる「利根川ネットワーク協定」を3社(上野村産業情報センター、株式会社グリーン、株式会社生産者連合デコボン)で結び、源流部(上野村)から下流部の企業とのネットワークが構築でき、今後さらに強化(連携企業の増加など)する。また、商品製造(ジュース加工)受託の決定、各種イベントへの参加など上野村のPRができた。この事業は単年度ではなく、今後も交流企業との連携強化やパートナーの選定、地場產品の販路拡大など継続して事業を進める。

群馬県上野村



利根川ネットワーク調印



上野村アンテナショップ開店



食の駅高崎店イベント

概要

当村のブランド力を確立し、それを高めることが、村への交流人口の増加や村製品の販売促進にもつながり、産業振興にとって重要と考えられる。そこで、文化・習俗・自然等の視覚化(シンボル・カラー・アプリケーション展開)によるロゴやパッケージデザインなどの創作と統一化、官学交流、ブランディングを目的として、調査及びその方策を検討する。また、最先端の開発データやデザイン概念及び技術の導入により、既存の生産品(木工品など)や環境(住環境・景観形成)を、より高度なレベルや新たな可能性へと移行させる方策を検討する。

事業実施にあたっては、総合的な学術力と行動性の高い学生を擁する大学を選定し、共同で事業を行う。また、多数の大学とはコミットせず、調査により総合力の高い大学を選定し、1大学に絞った長期的な共同開発事業とする。



上野村統一ロゴ案

事業の内容

事業の内容

東京の多摩美術大学をパートナーに事業を実施し、若者の上野村に対する素直な感覚により、村の施設改修に伴うデザインの提案や上野村のロゴや商品パッケージデザインを提案してもらい、今後の村の産業振興やブランド化の確立に繋げるための基礎をつくる。

総事業費

2.8百万円

ポイント

業者への依頼ではなく、今後の未来を担う学生(若者)の斬新な意見を重視した。



様々なパッケージデザイン案

事業の成果

施設改修については、学生からの提案を参考に改修を実施中。

ロゴについては、上野村の特徴を活かしながらも、他の「上野」との差別化が図れ、ロゴを組み合わせることで様々なデザインが生まれるものとなった。

また、パッケージデザインについては、村の特産品の特徴をうまく取り入れ、楽しく買い物ができるとともに、特産品のアピールにもつながるデザインとなった。



施設改修デザイン案

○村内事業者の連携強化のためのネットワーク構築事業

群馬県上野村

概要

上野村一丸となって産業振興を進めるうえで、行政と民間事業者をはじめ、各事業者間の連携を密にする仕組み作りが重要である。その実現のため、村が運営するCATV網を活用して、各事業者間(観光施設間や加工事業所間等)のネットワークを構築し、観光客の利便性の向上や村内事業所間の業務等の連携強化と効率化を図る。

事業の内容

事業の内容

一般社団法人上野村産業情報センターを中心に村内の主要な団体、施設との連携を強化するためのシステムを導入し、横の連携を強化するとともに情報共有を行えるようにした。

対応施設は、①上野村役場 ②上野村産業情報センター ③上野振興公社 ④上野村農業協同組合 ⑤上野村森林組合 ⑥日帰り温泉施設しおじの湯 ⑦上野村漁業協同組合 ⑧上野村商工会 の8団体34施設等である。

各施設にあるパソコンを利用し、施設内での情報(休館日、イベント情報、予約情報、村内情報等)を共有することで村内のどの施設からでも他の施設の状況が分かるようになりました。また、急遽または不規則の休みの場合でも情報共有できるためその場で対応が可能となった。

総事業費

1.6百万円

ポイント

参加事業者間のスケジュールが共有できるため、状況の把握が容易になる。

事業の成果

事業者間での連携が強化されたことで、観光等で訪れるお客さんや電話での問い合わせに対し参加事業者であればどこでも必要な情報を提供することができる。



3月6日 福寿庵は今日、営業していますか？



システムの導入により管理者(担当者)がそれぞれスケジュールを入れるので臨時休業の場合でも状況が把握できる。(ほかの事業者も同様)



「行ったら休みだった」と言うことがなくなり、開店している別のお店を紹介できる。